

37団体330人が参加

空港周辺道路美化活動



花壇に植栽をする参加者



国道295号沿いで散乱ごみを回収

今回で23回目を迎える「空港周辺道路美化活動」が6月21日に行われました。空港に通じる道路の美観を維持することを目的に平成11年から開始され、現在は年2回実施されています。この日は「なりの環境ネットワーク」の中から37団体の330人が8班に分かれ、国際文化会館を出発し国道295号線、408号線51号線などの道路に落ちているごみを拾い歩きました。また、「花と緑で成田をきれいにしよう」をスローガンに年4回、花の植栽も行われています。

新清掃工場建設工事起工式

建設工事の安全を 祈願して

現在建設が進められている新清掃工場の、工事の安全を祈願する起工式が6月26日、現清掃工場隣の建設地で行われました。成田市と富里市の共同事業として建設される新清掃工場は、老朽化した現在の清掃工場に代わり、安全性の高い最新鋭の技術によって環境への負荷を低減し、循環型社会を構築する自己完結型の施設で、その完成が両市の市民に待ち望まれています。



鍬入れを行う小泉市長(右)と相川富里市長

宗吾霊堂紫陽花まつり

箏・尺八・二胡の演奏も



訪れた人に箏・尺八の演奏を

約7,000株の紫陽花が植えられている宗吾霊堂で、6月13日から7月4日まで「宗吾霊堂紫陽花まつり」が開催されました。期間中の日曜日には、お茶会や農産物の販売などのほか、箏・尺八・二胡の演奏が行われ、風流な調べに多くの人が足を止めて聴き入っていました。



たくさんのカシワバアジサイが見られます

中学生による1日入国審査官

笑顔で
Welcome to Japan!!

旅行者に笑顔で応対

英語やドイツ語を交えて業務をこなせるように。参加者の塩塚遥奈さん(吾妻中・2年)は、「普段は体験できないことができてよかった。パスポートを渡した後に、お客さんが笑顔になってくれてうれしかった」と話していました。

入国管理業務の重要性を理解してもらおうと6月15日、成田空港で「中学生による1日入国審査官」が行われ、吾妻中学校と下総中学校の5人の中学生が、出国・上陸審査を体験しました。最初は緊張気味の中学生たちでしたが、慣れてくると自然と笑顔がこぼれ、

水防訓練

力作業も協力して手際よく

巨大台風の上陸による利根川の増水を想定して6月12日、安西の利根川河川敷で「水防訓練」が行われました。参加したのは、水防団や災害協力会など総



一つ一つの手順を確認しながら

勢337人。本部長の指令の下、各班に分かれて「土のう作り」や「竹尖げ」、「杭拵え」などの作業の手順を確認しました。訓練にはチームワークが要求されますが、参加者は声を掛け合いながら手際よく作業をこなし、無事に堤防の決壊を防ぐための工程を完了させることができました。

成田空港圏日本語スピーチ大会

流ちょうな日本語で



民族衣装をまとってのスピーチ

成田空港に隣接する成田市・富里市・芝山町・多古町と成田市国際交流協会・富里国際交流協会が主催する「第1回成田空港圏日本語スピーチ大会」が6月20日、国際文化会館で開催されました。参加したのは、成田空港周辺に在住・在勤の、10人の外国人。日本で暮らして思ったことなどが発表され、スピーチ大会の終了後には、集まった約350人の人たちが意見交換会を行いました。